

令和5年度 第2回
川口市文化財保護審議会
議事録

会 議 名	第2回川口市文化財保護審議会
開 催 日 時	令和6年2月20日(火) 10時00分～12時00分
開 催 場 所	川口市立文化財センター 3階 図書室
出 席 者	委 員 (会長◎、副会長○) ◎有元修一、金箱文夫、黒津高行、鈴木誠 田村均、西沢淳男、○林宏一、三田村佳子(8名) ※2名欠席 事務局 濱田教育総務部長 丸山次長兼文化財課長 鈴木課長補佐兼管理係長 谷川文化財保護係長 金子課長補佐兼埋蔵文化財係長 桑山主任、浅井主任
議 事	指定候補文化財審議について 東本郷曲輪遺跡出土金属製品
報 告	令和5年度文化財保護事業報告について
公開／非公開の別	公開
傍 聴 人 の 数	0人
会 議 資 料	令和5年度第2回川口市文化財保護審議会会議資料

審 議 経 過

◎ 第2回川口市文化財保護審議会

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事録署名委員の指名

川口市文化財保護条例第8条に基づき、会長が議長になり、会議開始に際して、出席委員が定数に達していること、傍聴者がいないことを確認し、議事録署名委員に、出席委員の中から西沢淳男委員、林宏一委員を指名した。

4 議事

指定候補文化財の審議について

令和6年1月18日付教育委員会からの諮問に基づき審議を行う。

議長 「東本郷曲輪遺跡出土金属製品」について
事務局より説明を求める。

事務局 資料に基づき説明する。

議長 事前調査を行った金箱委員より説明を求める。

委員 さきたま古墳群は群馬県を通じて、北から入ってきた一つの文化の象徴である。今回の古墳の調査はさきたま古墳群ほど、保存状態は良くないけれども、今までの足立区を含めたものと比べても、非常に重要な古墳にまちがいない。説明のなかでは、毛長川古墳群という名前はでてきてはいないが、川口市史において柿沼先生は、毛長川に沿った広域の文化圏としてこの古墳を位置付けている。足立区でも小さな円墳がたくさん出てきている。さきたま古墳群は北から入ってきた文化圏で、南の方からは東京湾を時計回りに海流が流れていて、現在の足立区近辺までに来ている文化圏があったと想定している。まさにその実態が今回の発掘調査で明らかになりつつある。まだまだ、小さな古墳、あるいは上の方だけが残っているような古墳があるかもしれない。戦後まもない頃、GHQが航空写真を撮影していて、その写真をみるとかつてはNHKの放送アンテナの鉄塔が立っていたあたりにも古墳が密集している。さきたま古墳群の中規模程度の前方後円墳並びに円墳がある。埼玉県全域を含めた古墳時代の位置づけをみても、さきたま古墳群とそん色ない。いろいろな文化が入ってきた入口として、そういうところを抑えていた権力者の埋葬の跡ではないかと

ということが川口市史のなかでも触れられている。そういう意味でも非常に重要な場所なので、指定にしてもらいたい。

議長 今回、候補になっている金属製品そのものについてはどうか。

委員 当然、指定にして、後世に伝えるべき資料であると考ええる。

議長 委員のみなさんに指定に関する意見を求める。

委員 こんなに川口に古墳時代の文化が残っていることに驚いている。あまり、川口に馬具がでてくるというイメージがないので驚いた。しかし、話を聞いて、毛長川沿いの歴史というのは深く、長い。そこに一つの文化圏があったのではないかと考えられるが、まさしくそれを裏付けるものがでてきた。是非とも指定をすべきである。市の指定というよりはもっと上のレベルを考えてもよいと思う。

遺物については、すべて保存処理が終了しているのか。

事務局 3か年に分けて保存処理を行っていて、今年が最終年度ですべて処理が終わる予定になっている。また、保存する過程の分析で金をかなり使っていて、保存状態もかなりよいとのことである。県内でもこれだけ金が残っているのはなかなか少ない。また、処理後にできる詳しい分析結果については後日ご報告する予定である。

委員 担当委員としては、この金属製品のメインになるものは馬具なのか。それとも全体なのか。

委員 出土品については、全国の事例から考えてもメインは馬具であると思う。しかし、馬具だけによって語ることはできない。指定はされていないが以前にも鉄剣が出ている。それらを併せて考えることによって整合性がでてくる。

委員 そうなると指定名称はどのようなものが望ましいのか。金属製品という名称にしても、一般市民の目線からすると馬具というものが、連想できないのではないのか。東本郷曲輪遺跡出土金属製品をよりわかりやすい名称にしたほうがよいのではないのか。

議長 指定するための文化財的な価値は充分あると考えられるが、名称についてはもう少し考える必要があると思うがいかがか。

東本郷曲輪遺跡出土までは遺跡の名称なのでそのままとして、そのあとの内容としてはどうか。

委員 曲輪という名称をつけたのは傑伝寺そのものが中世頃、地域を治める拠点であったと考えられたためであろう。従って、当時遺跡地図を作るときは古墳時代の遺跡があるとは考えていなかった。事実、そこ

を最初にみたとき、土塁らしきものが一部残っていた。土塁を一直線に上がっていくと傑伝寺がかまえているので、一つの館があったと考えていた。それで土地の名称の小字も曲輪というものが付いていたので、遺跡の名称も曲輪遺跡となったと認識している。しかし、実際、調査したところ土塁の中から廃棄物がでてきたりして、形状もかわっており、土塁や館があったかも証明することができなかった。遺跡の名称について今後変わっていくことがあるかもしれない。しかし、今回の指定は、あくまで金属製品が中心であるのでそのことについて、考えていく必要がある。

委員 金属製品というように括ってしまうと何であるかわからないので、馬具等という言葉を入れたほうがよいのではないかと思う。金属製品の主体が何であるかがある程度みえてくるのではないか。

事務局 国や県だと、馬具等一括のような使い方をしていることが多いようである。

議長 一括という言葉は、市の指定文化財のなかでもでてきていて、特に旧鳩ヶ谷の指定で使われている事例があるようである。しかし、金属製品というのが、あまりに一般的すぎる印象を受ける。

個人的には、馬具というような、個別の名称がわかること、古墳時代の遺物ということがわかるような名称がよいのではないかと考える。

委員 この調査で出土した金属製品はすべて古墳時代のものでよいのか。
事務局 そのとおりである。

議長 堀や土塁関係は15～16世紀のものでよいのか。

事務局 堀の形からそのように判断している。

委員 このような大きな堀はこのあたりででてきているのか。

委員 小宮山弾正が築いたと伝わる戸塚城の空堀も大きい。

委員 戸塚城とどちらが大きいのか。

事務局 戸塚城の土塁の方が大きい。幅が8m高さも5m以上あった。

委員 傑伝寺も含めると東本郷城も同じくらいの規模か。

事務局 同じくらいであるが、戸塚城よりやや小さい規模である。

委員 戸塚城は現在どのような状況か。

事務局 戸塚城は、現在壊されて、宅地になっている。

委員 大刀の出土も馬具といっしょに出たのか。

- 事務局 大刀は馬具が出土した遺構の中からではなく、外の古墳と古墳の間から出ている。
- 委員 大刀は銘など入っていなかったのか。
- 事務局 入っていなかった。一号墳の跡からもかけらがでていますが、古墳時代によくでる直刀と呼ばれるものである。
- 委員 円墳の主体部からは何も出ていないのか。
- 事務局 耳飾りと大刀の一部が出ている。
- 議長 名称の件はどうか。事務局としてはどのように考えるか。
- 事務局 一般の方に伝わるように古墳時代とか馬具という言葉は入れたい。新郷古墳群というようなことが伝わる名称がよいと考える。
- 今、出ている名称としては「東本郷曲輪遺跡出土馬具等金属製品一括」であるができれば古墳時代を入れたい。
- 委員 馬具等が入ればイメージが古墳時代に集約していくのではないか。あまり長くなってもどうかと思うし、今、考古学界で認識されていない新郷古墳群という名称も使えないのではないか。
- 委員 川口市史では新郷古墳群という名称が使われている。
- 議長 馬具だと、戦国時代の馬具と古墳時代の馬具との違いがわかりづらいのが気になるところであるが、あまり長い名称も好ましくないと考ええる。
- 委員 漢字がこれだけ続くのは専門家でないとなかなかわかりづらい。金属製品だけより、古墳時代を連想できる馬具等が入ったほうがよいと考える。
- 委員 曲輪というと古墳時代を連想できないので、やはり古墳時代を入れないと馬具がでてきた時代がわかりづらいと考える。
- 委員 馬具が一番メインのものということで、価値を前面に出すには馬具という言葉が必須であると考ええる。古墳まで入れるかどうかは長さの問題があるので検討する必要がある。
- 委員 東本郷曲輪遺跡古墳出土馬具と細かいものは切ってしまうと、あとは付にってしまうとどうか。そうすれば、東本郷曲輪は固有名詞ということになるのではないか。
- 委員 P. 19 の里の板碑のように長い名称もある。長くなってもよいのではないか。東本郷曲輪遺跡古墳出土馬具等金属製品一括でもよいのではないか。
- 議長 「東本郷曲輪遺跡古墳出土馬具等金属製品一括」で事務局はいかが

か。

事務局 古墳がどこまでの範囲とするかという問題がある。石室からでていると出土と違ってよいのか。また、今回、馬具が古墳の外の土坑からでているので、そこをどのようにとらえるのかであるが、ただ、古墳群として報告しているのだから、そこまで厳密にならなくてもよいのではないかと考える。

委員 古墳の遺構からでてきているのなら、古墳でもよいのではないか。

議長 長くてもわかりやすい名称がよいということで、「東本郷曲輪遺跡古墳出土馬具等金属製品一括」という名称でどうか。

全委員 ～意義なし～

議長 「東本郷曲輪遺跡古墳出土馬具等金属製品一括」という名称で市の指定文化財に指定することを本審議会の答申とする。

5 報告

令和5年度文化財保護事業の報告について

議長 事務局より説明を求める。

事務局 資料に基づき説明する。

議長 質問、意見を求める。

委員 P. 16 の歴史自然資料館実施事業の「赤山歴史散歩」は参加者も多いが、どのような事業なのか。

事務局 チラシで見学スポットを紹介して、参加者はチラシを見ながら自分で見て回るイベントである。

委員 実際に人が案内して、回るようなイベントはないのか。

事務局 「赤山歴史散歩」開催期間中に一度、直接、人が案内して回るイベントも行っている。

委員 無形民俗文化財は他の市町村でもコロナ感染症流行の関係で痛手を受けているところがあると聞いているが、川口市の団体はどのような状況か。

事務局 川口市には5件無形民俗文化財があるが、大人によって行われる行事については、概ね再開できている。しかし、江戸袋の獅子舞については、毎年、新しい子供たちが3人加入し、学年を進みながら、1年に一つ舞を覚えていって、7年で卒業していた。しかし、コロナ禍で中断し、新規加入者のない年が続いてしまったので、抜けてしまった年については、上の学年の子供が2つ舞って埋め合わせている状態が

続いている。今年は新しい子供が加入したとのことだが、コロナの影響はあったと、認識している。

委員 赤山城跡を赤山陣屋敷跡に名称をかえているとのことだが、P. 11 (1) イ「赤山城跡保存整備事業」の事業名称自体を変えることはできないのか。

事務局 内部でずっと使っていた名称なのでそのままになってしまっているが、検討していきたい。

議長 (2) イ市内文化財現況調査「茅葺民家調査」についてだが、文化財としての価値は認められないようだが、駅前の再開発事業とこの茅葺民家との兼ね合いはどのようになるのか。

事務局 最終的な結論はでていないが、所有者の方も維持しつづけるのが難しいという話をされている。曳家という案も出たが、茅葺のままだと建築基準法により難しい。

委員 安行の植木でこのあたりは切り花が有名な地域である。飯島家の建物以外のそのような資料の調査をすれば、併せて価値づけたりすることはできないのか。

事務局 現在はすでに植木の関係はやめてしまっている。先代までの話になるが、当時の切り花関係の資料がどこまで残っているか今後探っていくと思う。

委員 こういう景観が当時の川口にあったということ、そして、それがなくなるというのはもったいない気がする。

委員 この建物は高台に建っていて、川口を全貌できる。飯島家は旧新井宿の東側に大きな土地を買って、積極的に事業を広げていった。お茶や、戦後の施策に乗っ取って切り花を先駆的に行ったり、アメリカに花を販売したりもしている。この建物を建てた先代はもう亡くなっていて、今はお孫さんが、先代とは異なる新しい仕事に取り組んでいる。

この建物については、材料をすべて換えて、今でも住めるようになっている。

明治になってから、南側のところに柱を入れたようである。古い形式なのかと思い、小屋裏に上ってみたら、実際には補強になっていないが、補強して長く住み続けようとしていたあとがみられる。ふつうは座敷が二つ繋がって、欄間があって二部屋で使うという形式だが、このお宅は西側に八畳と十畳が上下に並んでいて、その間に床の間があるのが特徴で、明治になると同じ形式のものがあるが、もともと田

の字型の形式のお宅を継承していて、個人的な民家の例として、鳩ヶ谷時代に調査した民家と比べても、標準的な住宅である。

委員 北西側に突出している「つのべや」は建った時からこの構造であったのか。

委員 本来は増築して「つのべや」を作る例が多いが、このお宅は最初から「つのべや」があった。

委員 この周辺、浦和もそうだが、南側に「つのべや」がある民家を写真や現物でみたことがある。北足立の特徴の一つであるのではないかと思う。

事務局 市史等でも安行の周辺を調査したものだと、「つのべや」を設けている家が多い。

委員 この家は北側に「つのべや」が出ているので民家形態としては特徴的ではないかと思う。

委員 ここがロータリーでバス停になるとき、この建物を活用することができればよいと思うが、全国的にあまり例がなく、大きな挑戦となり、なかなか難しいと思う。

委員 P. 18、資料貸出で「八幡木ばやしの確認」とは何か。

事務局 八幡木ばやしは数年前に最後の継承者が亡くなられて、指定解除になったが、そのあとになって復活できないかという話が市民の方からあり、記録のテープを貸してほしいという依頼があった。

委員 この貸し出した鼓雀會というのはもともとお囃子とかをやっていて、そのグループが八幡木ばやしを復活したいということか。

事務局 そのとおりである。

委員 P. 14 の埋蔵文化財の関係で、遺跡包蔵地地図が鳩ヶ谷と合併する前の旧川口市においては、台地の上はほぼ遺跡包蔵地であった。鳩ヶ谷市は実態として遺物が出土したような場所を遺跡包蔵地としていた。現在、どのような範囲で照会を行っているのか。

事務局 遺跡包蔵地の範囲というのが、以前から審議会で話されているが、旧川口部分は、遺跡包蔵地がかなり広範になっている。問い合わせ件数が多いのも、そもそも遺跡包蔵地が広いことも原因の一つである。範囲にはなっているが遺物が過去の調査などで、ほとんど出ていない部分について、遺跡包蔵地を縮めることについて、県と協議を行っている。県とは今年度2回打ち合わせを行っている。県の方からすると、遺跡包蔵地が縮まるとか、なくなるというパターンは、遺跡包蔵地を

全部掘っているなどこれ以上調査がないパターンと、今まで出ていないから終了するパターンがあると考えている。縮めることは可能だが、今までないとはどれくらいの期間か、また、何割調査をしたら、遺跡包蔵地を縮めることができるのかという基準が必要であると考えている。そしてその基準を作るため、今後、埼玉県内の市町村の担当者会などで話をあげて準備を進めていくことになっている。今、川口には 191 遺跡ある。そのうち実際に遺物が確認されていないが遺跡包蔵地に指定されているものが 50 遺跡くらいある。そのなかでも面積的にかなり調査が進んでいるところを優先的に縮めていこうと計画していて、県と調整している。

議長 その他に何かあるか。
 ～意見なし～

6 その他

議長 全体を通して質問、意見を求める。
 ～意見なし～

7 閉会

議長 以上で、議事を終了する。

議事録署名

_____ 印

_____ 印